

各関係大学長
各関係機関長
各団体長

} 殿

沖縄県立芸術大学
学長 波多野 泉
(公印省略)

教員公募について（依頼）

時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび、本学では下記要領により教員を公募いたします。つきましては、各関係各位、機関にご周知方よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 職名・人員 教授又は准教授 1名
- 2 専門分野 民族音楽学
- 3 所属専攻 音楽学部音楽学科音楽文化専攻
- 4 担当授業科目 全学教育センター：
民族音楽学概論
音楽学部：
民族音楽学 民族音楽学演習 英語文献講読 音楽文化研究
卒業研究 音楽文化入門
音楽芸術研究科（大学院）：
演習 民族音楽学研究 課題演習 原典講読
- 5 応募資格 次の各号を満たすもの
(1) 博士の学位を有する者、もしくはそれと同等の教育研究上の業績又は能力を有する者
(2) 上記の科目を担当できる者
(3) 民族音楽学の研究領域として、アジア太平洋地域を含んでいること
(4) 採用後は通勤可能な沖縄県内に居住できる者
- 6 採用予定日 令和9年4月1日
- 7 提出書類 (1) 履歴書(第1号様式。E-mail アドレスなど確実に連絡の取ることのできる方法を明記すること。)
(2) 研究芸術活動業績書(第2号様式)

- (3) 教育校務活動業績書(第3号様式)
 - (4) 社会活動業績書(第4号様式)
 - (5) 自薦書(第5号様式)
 - (6) 主な業績(著書、論文の写し等)3点以内
 - ※上記所定様式(第1~5号様式)については、本学ウェブサイトからダウンロードして使用すること。
 - 大学ウェブサイト:「教員採用情報」
<https://www.okigei.ac.jp/employment/employment-index.html>
 - 教員の新規採用にかかる提出書類の様式(履歴書等)「教員用」
 - (7) 提出資料は原則として返却しない。返却希望の場合は返送先を記入し送料分の切手を貼付した封筒等を同封すること。
 - ※すべての資料に必ず氏名を記入すること。
- 8 提出期限 令和8年6月30日(火) 必着
- 9 選考方法 第一次審査:書類選考
 第二次審査:面接(模擬授業を含む場合がある。)8月を予定。
 ※選考に係わる旅費等の経費は応募者の負担とする。
- 10 選考結果 採否は令和8年11月末をめどに本人宛に通知する。
- 11 就業場所 (雇入れ直後)首里当蔵キャンパス (変更の範囲)変更なし
- 12 就業時間 8時30分~17時15分
 (1日7時間45分勤務したものとみなす裁量労働制を適用。)
- 13 休憩時間 12時00分~13時00分
- 14 休日等 土日、祝日、沖縄県の休日(6月23日)及び年末年始(12月29日~1月3日)
- 15 月給 371,500円~560,500円(経歴により異なる)
 ※その他、通勤手当、扶養手当、住居手当、期末手当、勤勉手当等
- 16 加入保険 雇用保険、厚生年金・健康保険(公立学校共済組合)、公災
- 17 教員住宅制度 なし
- 18 受動喫煙対策 あり(敷地内禁煙)
- 19 応募書類の提出先 〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
 沖縄県立芸術大学 教務学生課 宛て
 (郵便書留とし、封筒に「音楽文化専攻音楽学コース教員応募書類
 在中」と朱書きのこと)
- 20 問合せ先 沖縄県立芸術大学 事務局 教務学生課(担当:宮城)
 Tel 098-882-5080 メールアドレス kyomu@okigei.ac.jp
- 21 備考 (1) 本学の建学の理念に賛同し、教育・研究および大学運営に積極的に
 関われる人材であること。
 (2) 琉球・沖縄の音楽を研究する意思があることが望ましい。
 (3) 担当科目の授業では、PCなどを十分に活用できること、またオン
 ライン授業にも対応できること。

- (4) 大学院芸術文化科学研究科(後期博士課程)を兼務することがある。
- (5) 担当科目は、変更することがある。
- (6) 本学の定年は65歳である。
- (7) 本学は、女性研究者の積極的な応募を歓迎する。本公募では、男女雇用機会均等法第8条(女性労働者に係る措置に関する特例)に基づき、業績及び人物評価等の審査結果が同等と認められる場合には、女性を優先して採用する。